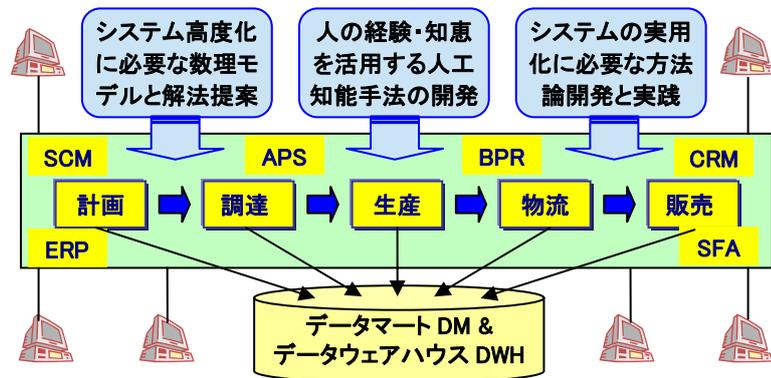




董 彦文(とう げんぶん)
 Dong Yanwen
 博士 (大阪府立大学)
 略職歴
 1984 年北京科技大学
 採用助手
 1986 年 同上 専任講師
 1997 年 福島大学助教授
 現在 同上 教授

研究タイトル: 知的生産管理情報システムの理論と開発に関する研究

消費者が主体となった「多様化・スピード」の時代に入っている現在、企業内外のすべてのビジネスプロセスを統合し、「全体最適」の視点に立った生産物流システムとサプライチェーンを構築しなければ、激変するビジネス環境の中で競争優位性の獲得はできない。この中で、より高度化された知的生産管理システムの構築と活用が不可欠であり、それに必要な最適化手法、人間の経験・知恵を取り入れた人工知能手法およびシステム開発と実用化の方法論を中心に、理論と実践的研究を行う。



学会活動

- ・日本経営工学会正会員
- ・日本ロジスティクスシステム学会正会員
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会正会員

社会活動

中小企業向けの業務管理システムパッケージソフトを独自に開発し、中小企業4社に導入し、その指導と相談を担当。

主な担当科目

- ・経営工学概論
- ・経営情報システム
- ・電子商取引概論
- ・情報セキュリティ論
- ・経営情報システム特殊研究 (大学院)

主な研究分野

- ① **ファジィスケジューリング手法**：不確かな要因を考慮して、生産管理に必要な日程計画と物流管理に必要な輸配送計画を最適（良）に編成する手法を提案する。
- ② **知的生産管理システム**：ニューラルネットワーク、事例ベース推論などの人工知能手法を用いて、実用スケジューリング問題の解決および生産日程計画・物流輸配送計画システムを開発する。
- ③ **データマイニング**：特に中小企業の取引先信用評価問題の解決方法と関連システムの構築に取り組んでいる。

相談に応じられる分野,テーマ

- ① 生産管理・工場管理の改善活動および生産管理情報システムの開発
- ② 中小企業における基幹系業務管理情報システムの導入と開発
- ③ 社内情報ネットワーク構築から人材養成まで企業情報化活動の支援

キーワード:

生産管理, 物流管理, 情報システム, データマイニング, 企業情報化

代表的な業績(論文, 著書, 特許等)

- ・“事例ベース推論を用いた取引先信用評価システム”, 日本経営工学会論文誌, Vol.57, No.2, pp.144-152 (2006).
- ・“ファジィ最短路の探索と選択問題に関する研究”, 日本ロジスティクスシステム学会誌, Vol.2, No.1, pp.37-47 (2001).